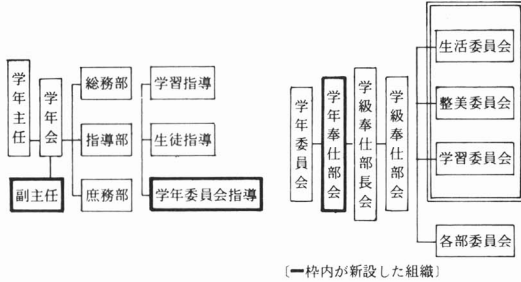


図が明確になるようにしながら、日常の活動を行うようにした。

ア 教師の組織 イ 生徒の組織



③ 基本的生活習慣の確立を図る実践
 学年会で、基本的生活習慣の確立を図る指導の手だてはどうすればよいのか、実践事項、点検、評価等について共通理解を図り、日常実践を行った。

ア 対象を定める。

イ 指導計画を立てる。

年間→学期→月→週の計画を立て、実施反省し、次の計画に生かす。

〔計画の一例〕

1. 指導者名	佐藤(西)・遠藤 先生
2. 点検・活動係名	(生活)・(学習)・(整美)委員会
3. 活動場面	(登校時)・(休み時間)・(昼の時間)・(下校時)
4. 身につけさせたい生活習慣	時間 ・ 清掃 ・ あいさつ
5. 活動のようす	・ 朝の挨拶はよく行われているが元気が足りない。 ・ 休み時間の時間意識はあまりよくない。 ・ 清掃は、学年内で目標を達成した学年が産
6. 反省	・ 学年会議、学級活動、係・班長が状況の報告連絡、反省、コメントのやりかたについて

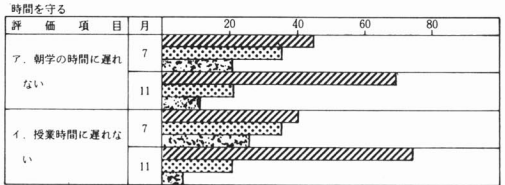
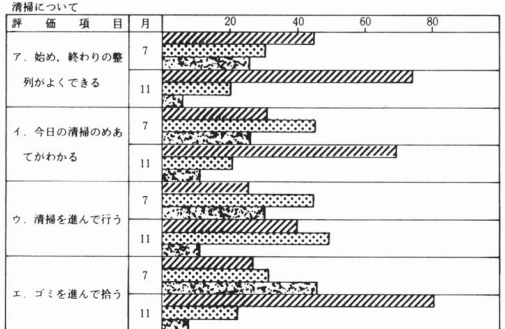
ウ 指導の方法を確認する。

エ 点検カードを使用する。

- ・ 三項目の基本的生活習慣の内容について、点検項目を設定し、基準は3段階とし、毎月末に実施する。
- ・ 点検した結果について、集計発表を行い、生徒の意識を高めるとともに、指導の反省改善のために、積極的な活用に努力する。

(2) 実践の評価

評価は、月ごとに、生徒の基本的生活習慣の確立度合いを確認するために、また、指導のために実施し、その変容段階を理解するため、グラフ化して、考察する。



(3) 実践の考察

① 学年会の充実について

ア 昨年より、学年会は月3回開催されるようになり、生徒の情報交換がよく行われ、具体的内容が、同一歩調で指導できるようになった。

イ 基本的生活習慣の確立を図る項目が焦点化し、指導しやすくなった。